

道の駅構想について

第四次総合計画後期基本計画やたかさご未来総合戦略にも記載され、5月の臨時会で市長の施政方針でも述べられた道の駅構想について質問しました。

質問

道の駅構想を進める目的を伺いたい。
高砂市は市域も広くなく、並走する自動車専用道もあり、必須とは思えない。



また、道の駅は公設が主流の公共施設のひとつであるため、公共施設を統廃合していくという、国や市の全体の流れとも矛盾する。その上で、計画を進める目的は何であるのか。

市の回答

道の駅は長距離ドライバーや女性・高齢者のドライバーの増加に伴い、安心して休憩できる場所の設置・沿道の地域活性化・地域連携の核などを目的に設置されている。

当市でも、沿道サービスのみならず、地域イノベーションの場や観光力の強化、住民の憩いの場の提供、災害時の復旧活動の拠点などを目的に、観光の拠点・にぎわい・地域のつながり・安全安心の拠点として設置を進めたい。

質問

道の駅は市町村またはそれに準ずる団体のみに設置が認められている公共事業である。他市町の道の駅の中には、経営がうまくいっていないところも多く、これらの要因は初期投資を回収しなくてもよいから、経営が甘くなることにあると考えられる。

公設は公共施設を増やし、負荷を増やす可能性もある。公設の道の駅にこだわることなく、民設民営や産直販売所の誘致など、幅広い検討を行うことはできないか。

市の回答

道の駅は 98%が公設であり、運営は第三セクターや指定管理の導入が 75%と、公設民営が主流である。

しかしながら、養父市の例など、民設民営の道の駅もあり、道の駅ではないが稲美町には民設の産直販売所もある。公設にこだわらず、息の長い管理運営を目指し、PFI 導入も検討したい。



道の駅についてはまだ構想段階ということもあり、今回の一般質問では概要の議論となりました。今後も皆様のご意見をお伺いしながら、具体的な議論の機会に声を届けていきたいと思います。



しまづはるか後援会報 会報12号

発行責任者：島津明香 TEL/FAX:079-447-1515 E-mail:shimazu.takasago@gmail.com

挨拶

後援会報を手にとっていただき、ありがとうございます。

9月12日から9月28日までの17日間、9月定例会が行われました。平成26年の選挙より二年が経ち、市議会議員の任期も折り返しとなりました。3年目も課題と向き合い、皆様の声を届けて参りますので、よろしくお願い申し上げます。

最後まで読んでいただけると嬉しく存じます。



高砂市議会議員 島津 明香

9月定例会トピックス

■一般質問

・道の駅構想について一般質問をしました

■議案内容から

- ・子ども・若者・女性活躍などを包括する新たな部が設置されます
- ・新庁舎建設事業は基本設計業者選定に向かいます
- ・新年度よりごみのふれあい収集が開始します
- ・堀川周辺地区整備の駐車場用地測量について議論しました
- ・中学校給食に向け、給食センターの用地確保が行われます

新たな所属委員会

9月を迎え、新たな委員会構成となりました。

私の所属委員会は下記のとおりです。

■常任委員会

総務常任委員会 副委員長

■特別委員会

行政経営調査検討特別委員会

※委員会条例に基づく委員会ではありませんが、市議会だより編集委員会の委員長も務めます。

また、議会選出委員として、都市計画審議会委員も務めます。

お詫びと訂正

後援会報10号及び11号に誤字がございました。お詫び申し上げます。

後援会報10号

見開きページ

【誤】地方創生創業戦略

【正】地方創生総合戦略

後援会報11号

4ページ

【誤】施設併分離型

【正】施設分離型

9月定例会 議案質疑より

こども未来部創設について

2016年9月14日・27日のブログにも掲載中

平成29年4月より、結婚から出産までの世代、子育て世代及び青少年・若者世代に対する施策並びに男女共同参画及び移住・定住に関する施策を包括的に進めるため、こども未来部が創設されます。組織改正に伴う「高砂市部及び室設置条例の一部を改正する条例を定めることについて」が提案され、審議・可決しました。

| 現行組織 | 子ども未来部における主な業務 | もとの部に残るもの |
|---|---|---|
| 企画総務部 未来戦略推進室 | 子育て支援室 子ども・子育て支援事業計画 母子・父子、児童虐待防止、 子育て支援事業 保育所、幼保連携型認定こども園 幼稚園、高砂児童学園 など | <ul style="list-style-type: none"> 青年の家の管理 (教育部) 障がい児に関する事務 (福祉部) 母子保健など保健分野 (健康文化部) |
| 福祉部 子育て支援室 | | |
| 健康文化部 くらしと文化室 市民活動推進課 (男女共同参画事務) | 未来戦略推進室 たかさご未来総合戦略 男女共同参画、女性活躍推進 若者施策、青少年健全育成 など |  |
| 教育部 学校教育室 青少年育成課 青少年補導センター | | |



市の担当者

母子保健が健康文化部に残ることは、妊娠、出産を包括することに矛盾するのではないかと。若い世代の課題の一つである望まない妊娠への対応など、こども未来部が担うことはできないのか。

現状、保健師15名を健康文化部に12名、福祉部に3名配置している。保健師のバランスを考えると、母子保健は健康文化部で担うことが望ましい。ただし、4月以降はそれぞれの組織の担う業務を考慮し、保健師を配置していきたい。



市の担当者

女性活躍は若い世代に限らず、すべての世代に関わる事項であるが、若い世代のみに特化するのか。また、本来は担当を設けるのではなく、各課すべてが女性のことを視野に入れて業務を行うべきであると思われる。見解を伺いたい。

女性活躍推進法を受け、女性活躍を男女共同参画推進プランに含め、その事務をこども未来部で行う。各業務については、これまでどおり、それぞれの担当課で進めていく。女性活躍部分については、若い世代に限らず、あらゆる世代のことをこの部で担うことを考えている。

ふれあい収集について

2016年9月9日・16日のブログにも掲載中

平成29年4月より、ひとり暮らしの高齢の方や障がいをお持ちの方を対象に、各家庭の玄関先でゴミを回収する「ふれあい収集」が開始されることとなり、予算を可決しました。



市の担当者

他の家族と住まれているものの、ゴミ出しが困難な家庭についてはどのように対応するのか。また、家の外観からふれあい収集を利用していることがわかることにより、かえって危険にさらされる可能性もある。どのように対策するのか。

ひとり暮らしではない方でも、市に申請いただくことによって対象となる場合がある。また、利用者と面談や民生委員の方とも相談する中でゴミ出し場所を決定し、危険がないように工夫する。

堀川周辺地区駐車場について

2016年9月16日・30日のブログにも掲載中

市が進めようとしている工業邸を中心とする堀川周辺地区整備にあたり、観光をされる方などを対象に駐車場を整備するための用地測量の予算が提案され、可決しました。ただし、駐車場のあり方や行政としての用地取得目的については明確でない点もあるため、用地取得までに根拠などを提示することを議会として求めています。



市の担当者

駐車場設置の理由が明確ではないと思われる。駐車場の必要性を伺いたい。また、駐車場を設けるにあたり、無料管理が予定されているが、周囲には有料駐車場しかないため、行政が無料駐車場を設けることによって、民間活力の参入障壁となることが考えられる。見解を伺いたい。

駐車場設置の目的は、文化財活用・観光客サービス・堀川地区の修景・高砂神社礼祭における観覧場所・イベント広場活用があげられる。管理は、将来的には有料も考える可能性はあるものの、初期段階としては無料としたい。

※質疑・答弁の要点を記したものであり、実際の発言とは言い回し・言葉遣いなどは異なります。

お知らせ

ホームページも合わせてご覧ください。 <http://shimazuharuka.com/>

また、日々の活動をブログに綴っています。

しまづはるか活動報告 <http://blog.goo.ne.jp/shimazu1987>

後援会員を募集しております。ご入会いただける方は、下記連絡先まで、ご連絡ください。読んでいただき、ありがとうございます。ご感想をお寄せいただくと嬉しく存じます。

TEL/FAX 079-447-1515 E-mail shimazu.takasago@gmail.com